肉用牛飼養戸数・頭数の推移

- 飼養戸数は、減少傾向で推移。主に小規模層で減少。
- 飼養頭数は、平成29年から増加傾向で推移していたが、令和６年以降減少。
- 一戸当たり飼養頭数は増加傾向で推移しており、大規模化が進展。
- 繁殖雌牛の飼養頭数は、平成28年から増加傾向で推移していたが、令和６年以降減少。

区　分　／　年		30	31	31参考値 ※注３	令和２ ※注４	3	4	5	6	7	8
肉用牛	戸 数（千戸）	48.3	46.3	45.6	43.9	42.1	40.4	38.6	36.5	34.0	31.8
	(対前年増減率)(%)	(▲3.6)	(▲4.1)	－	(▲3.7)	(▲4.1)	(▲4.0)	(▲4.5)	(▲5.4)	(▲6.8)	(▲6.5)
	頭 数（千頭）	2,514	2,503	2,527	2,555	2,605	2,614	2,687	2,672	2,595	2,473
	(対前年増減率)(%)	(0.6)	(▲0.4)	－	(1.1)	(2.0)	(0.3)	(2.8)	(▲0.6)	(▲2.9)	(▲4.7)
	１戸当たり(頭)	52.0	54.1	55.4	58.2	61.9	64.7	69.6	73.2	76.3	77.8
うち繁殖雌牛	戸 数（千戸）	41.8	40.2	40.1	38.6	36.9	35.5	33.8	31.8	29.4	27.2
	頭 数（千頭）	610	626	605	622	633	637	645	640	611	576
	１戸当たり(頭)	14.6	15.6	15.1	16.1	17.1	17.9	19.1	20.1	20.8	21.2
うち肥育牛 ※注２	戸 数（千戸）	10.8	10.2	10.1	10.0	9.7	9.5	9.5	9.6	9.5	9.4
	頭 数（千頭）	1,550	1,522	1,542	1,548	1,575	1,601	1,635	1,617	1,577	1,515
	１戸当たり(頭)	143.5	149.2	152.7	155.1	161.7	168.8	171.7	168.7	166.0	162.0

資料：農林水産省「畜産統計」（各年２月１日現在）
注１：繁殖雌牛と肥育牛を重複して飼養している場合もあることから、両者の飼養戸数は肉用牛飼養戸数とは一致しない。
２：肥育牛は、肉用種の肥育用牛と、乳用種の和としている。
３：令和２年から統計手法が変更されたため、令和２年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。
４：令和２年の対前年増減率は、平成31年の参考値との比較である。